

オムロンのサステナビリティへの取組み ～OMRON Sustainability Goals～

2017年12月27日

執行役員

グローバルIR・コーポレートコミュニケーション本部長

井垣 勉

オムロンのサステナビリティ取組みの特徴

1. サステナビリティ方針を定め、中期経営計画と統合したサステナビリティ目標とKPIを設定した。中期経営計画の目標達成がサステナビリティ目標の達成となり、かつSDGsへの貢献につながる。
2. サステナビリティ課題の設定にあたり、「事業を通じて解決する社会的課題」と「ステークホルダーの期待に応える課題」の双方を取り上げ、社員全員による参画を意識した。
3. 取締役会がサステナビリティ方針を設定し、サステナビリティ課題に対する取組みへの監視・監督機能を果たすことを宣言した。
4. 経営トップ層の中長期業績連動報酬を決定する際のKPIのひとつに、第三者機関のサステナビリティ指標に基づく評価を採用した。
5. サステナビリティ方針・目標・KPI・進捗状況を統合レポートを含む様々な媒体で開示し、ステークホルダーとの対話を強化している。

1959年: 会社の憲法「社憲」の誕生



創業者の直筆のスケッチ

「社憲」の精神を企業理念として受け継ぐ

Our Mission

(社憲)

われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう

Our Values

私たちが大切にする価値観

・ソーシャルニーズの創造

私たちは、世に先駆けて新たな価値を創造し続けます。

・絶えざるチャレンジ

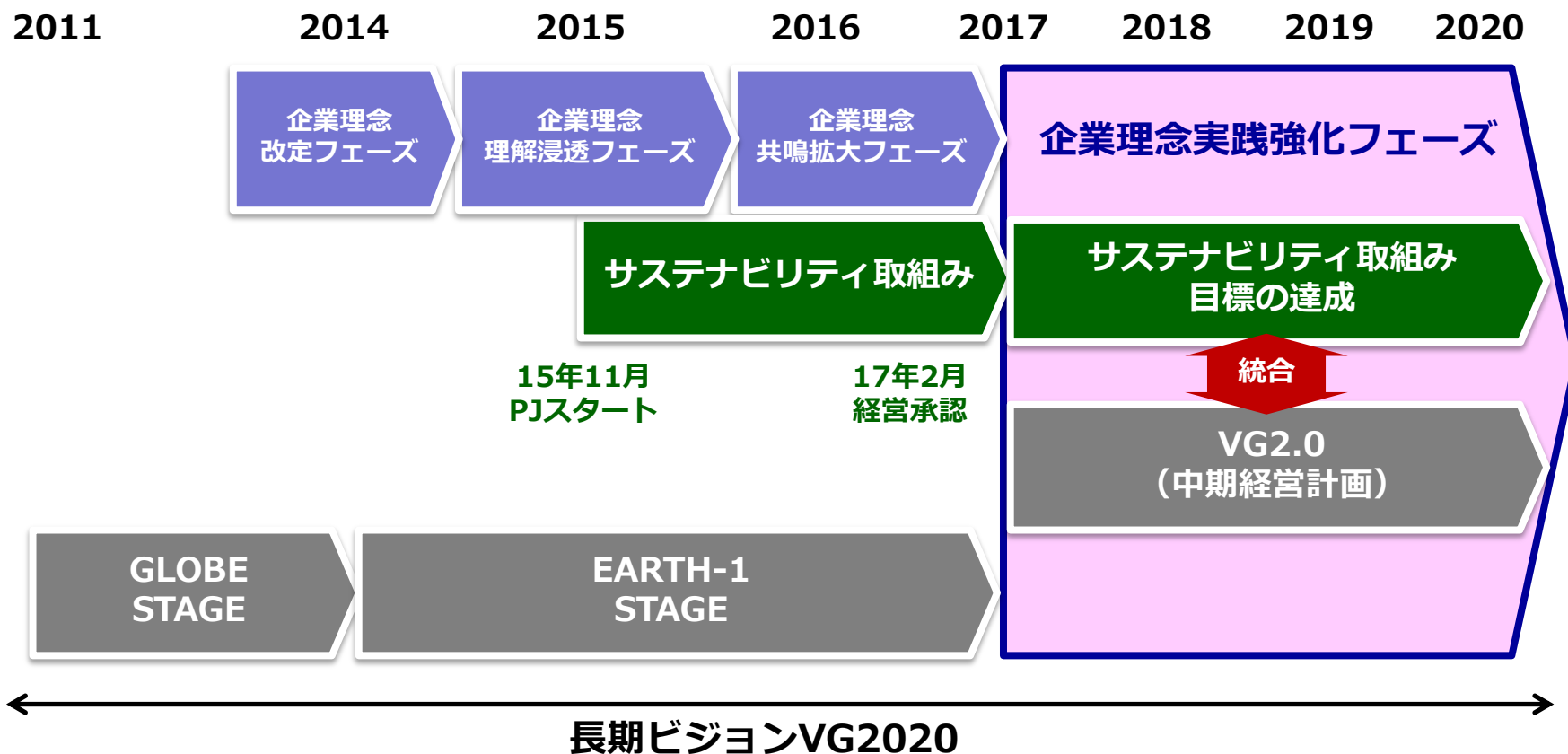
私たちは、失敗を恐れず情熱をもって挑戦し続けます。

・人間性の尊重

私たちは、誠実であることを誇りとし、人間の可能性を信じ続けます。

企業理念の浸透とサステナビリティの推進

中期経営計画「VG2.0」にサステナビリティ推進を組み込み、
更なる企業価値向上を目指して、
2017年度より「企業理念実践強化フェーズ」がスタート



経営のコミットメント

2017年度取締役会運営方針に、サステナビリティ重要課題に対する取組みの監督機能の発揮を明記。また、取締役および執行役員の中長期業績連動報酬に第三者機関の調査に基づくサステナビリティ指標を組込んだ。

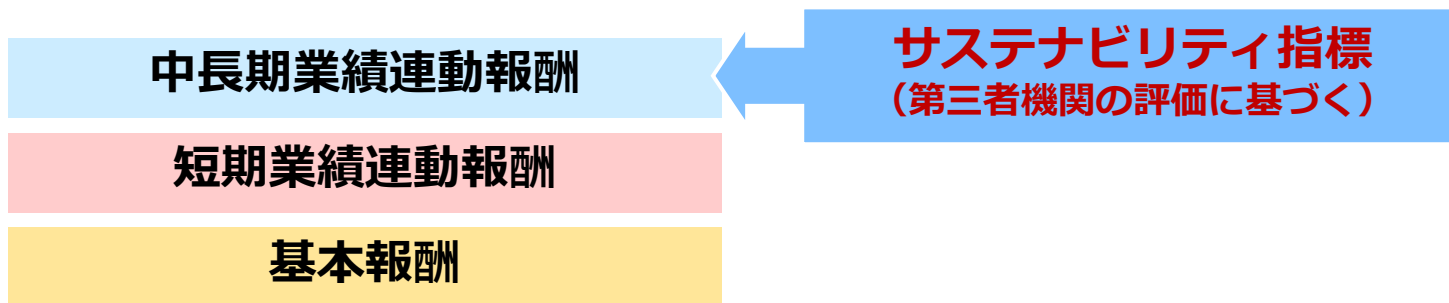
2017年度取締役会運営方針

取締役会は、コーポレート・ガバナンス委員会による評価結果を踏まえ、2017年度にスタートした中期経営計画「VG2.0」の確実な達成に向けて、特に以下の3点への監督機能を発揮する。

- ・ 短期経営計画の進捗確認
- ・ 中期経営戦略の要となる人財戦略、技術戦略
- ・ **サステナビリティ方針に基づき設定した重要課題(マテリアリティ)に対する取組み**

当社は持続的な企業価値の向上を実現することを目的として、取締役会の実効性向上に継続的に取り組んでいく。

役員報酬体系



目標設定における工夫

「VG2.0」において解決する社会的課題をSDGsと関連付け、社会的価値の創出を目指してオムロンで実行する取組みと2020年度の目標を設定

社会的課題の特定
(SDGs)

オムロンの取組み

2020年度目標/KPI

社会的価値

どのような社会的課題に
取り組むのか？

提供する商品・サービス
または実行計画

定量/定性目標と
KPIの設定

それによりどんな価値を
社会へ提供できるか？



目標/KPI設定の考え方

- ・「VG2.0」と整合した定量/定性の目標であること
- ・社会から見て重要で、社会的価値の拡大に繋がるもの
- ・社員にとって分かりやすく、ポジティブでモチベーション向上に繋がるもの
- ・グローバル共通の目標が望ましい
- ・オムロンユニークな取組みや目標とすること
- ・結果指標だけでなく、プロセス目標でもよい

「VG2.0」基本戦略

4つの注力ドメインを設定し、全社一丸でソーシャルニーズを創造する。
特に、FA、ヘルスケアに注力する。



FA

世界中の人々を豊かにする



ヘルスケア

世界中の人々の健康で健やかな生活へ貢献



モビリティ

世界を安全、安心、快適、クリーンにする



エネルギーマネジメント

世界の持続可能性を高める

「VG2.0」とサステナビリティ戦略の関係

企業理念

経営のスタンス・サステナビリティ方針

VG2.0

事業戦略

1. 注力ドメインを再設定し事業を最強化
2. ビジネスモデルの進化
3. コア技術の強化

×

パートナーとの協創

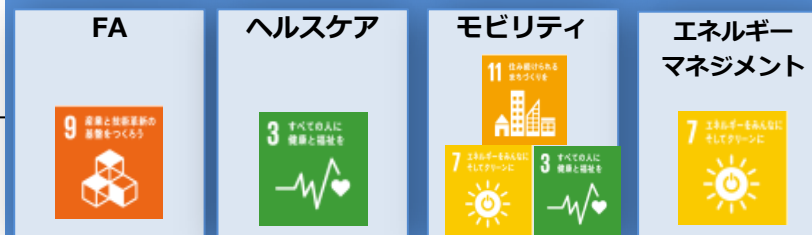
運営機能戦略

+

人財マネジメント・ものづくり・
リスクマネジメント…

サステナビリティの注力課題領域

事業を通じて解決する社会的課題
～ソーシャルニーズへの対応～



×

パートナーとの協創



+

ステークホルダーの期待に応える課題



事業を通じて解決する社会的課題 ～ソーシャルニーズへの対応～

4つの注カドメインで、2020年度のサステナビリティ目標を設定

FA

S E

注カ4業界における *i*-Automation! を実現する新商品の創出
～モノづくり革新の制御技術創出～



ヘルスケア

S E

血圧計販売台数：2,500万台／年
ネブライザ+喘鳴測定器販売台数：765万台／年



モビリティ

S E

安全運転支援システム・技術の創出
高度運転支援/自動運転用の車両全周360°認識技術の創出
エコ製品搭載台数：1,000万台／年



エネルギー
マネジメント

E S

太陽光発電/蓄電システム累積出荷容量：11.2GW



ステークホルダーの期待に応える課題

運営機能面においても、2020年度のサステナビリティ目標を設定

人財 マネジメント

G S

企業理念実践に向けたTOGA^{※1}の発展的継続

海外重要ポジションに占める現地化比率：3分の2（66%）

エンゲージメントサーベイ実施によるPDCA加速

女性管理職比率（グループ国内）：8%



ものづくり

S E

新規開発品の製品安全アセスメント実施率：100%

環境貢献量 > 生産拠点のCO2排出量

電子体温計と電子血圧計等の普及による水銀削減：69トン/年

重要仕入れ先のサステナビリティセルフチェック：

100%実施、85点以上達成



リスク マネジメント

G S

グループガバナンスの飛躍的な進化

- ・オムロングループルール^{※2}のグローバル全拠点浸透
- ・倫理行動ルールのグローバル教育実施
- ・新たな情報セキュリティ体制の構築



※1 The OMRON Global Awardsの略で、企業理念の実践を促進するための社内の表彰制度

※2 当社グループにおけるマネジメントの透明性・公平性・グローバル性を確保し、適切で迅速な意思決定を行う経営基盤として制定した社内ルール

本日まで説明するテーマ

人財マネジメント

ものづくり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



■ 事業を通じた社会的課題の解決

■ ステークホルダーの期待に応える課題

リスクマネジメント

OMRON